

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	12月3日(土)	長崎県	プレジャーボート	乗揚
人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	11月28日(月)	山口県	マリレに伴う海浜事故	海中転落
	11月29日(火)	福岡県	マリレ以外の海浜事故	自殺
	11月30日(水)	佐賀県	マリレ以外の海浜事故	(漂流遺体)
	12月2日(金)	福岡県	マリレに伴う海浜事故	海中転落

釣り中の海中転落多発！

【問合せ先】

第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
安全対策調整官 川部
TEL：093-321-2931（内線2640）

【事故事例】

令和4年12月2日17:00ころ、事故者と友人は、岸壁にテントを展張し、交互に休憩しながら釣りを開始した。
21:00ころから友人はテント内で仮眠し、事故者は釣りを行っていたが、友人が目覚めたころ、事故者は付近に見当たらず、深夜になっても戻ってこないため捜索したところ、海上でうつ伏せ状態の事故者を発見、118番通報したもの。その後事故者の死亡が確認された。



なぜ命が奪われたのか

救命胴衣の未着用!!

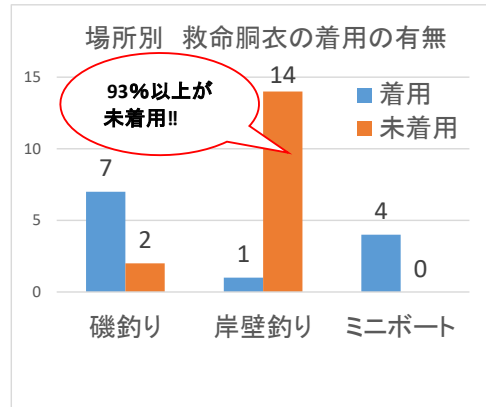
◆93%以上の岸壁釣り客が未着用!?

令和4年に発生した岸壁釣り中の事故者15人中、なんと14人が救命胴衣を着用していませんでした。岸壁からの海中転落事故の多くは、

- ・夜間の足元不注意
- ・準備中や釣り場所の移動時の不注意

が原因で発生しており、無事救助されたとしても低体温症を発症して病院に搬送されています。

これからの季節の海水温は約15度～20度です。万が一、海中転落した場合、重度の低体温症に陥る前に救助してもらうためにも、救命胴衣の着用は必須です。岸壁釣りでは救命胴衣は大きすぎと思わずに、着用をお願いします。



自ら落水を招く結果に

過度な飲酒は禁物!!



◆万が一海中転落した場合、意識不明になりやすい!

海水浴場での過度な飲酒を控えることはよく知られていますが、釣り中の過度の飲酒により転落するケースもあります。足場が不安定な磯場はもちろん、多数の突起物がある岸壁上も足元がふらつければ転落の危険性が高まります。また、海中転落してしまった場合も、泥酔時は心臓に負荷がかかり、不整脈となりやすくなるため、意識不明に陥りやすいです。特に、足元がはっきりと見えない夜間の飲酒はほどほどにしましょう。

岸壁は船の係留施設です。

釣りは、釣り人への安全対策が万全な海釣り公園等を利用しましょう!